

支払うという取扱い(代金引換)を請求することができる。本書はこの代金引換の取扱いをする小荷物または貨物を受託したときに、荷送人に交付するもので、代金引換小荷物切符甲片または代金引換貨物通知書甲片のことである。本書は小荷物または貨物の運送引受・運賃料金の收受等運送契約の内容を証明する証拠書類ならびに引換代金支払いのときの引換証および支払証券の作用を有し、有価証券ではない。

本書は荷送人においては、引換代金受領のときの引換用のほか、小荷物または貨物に対する託送取消・発駅返送・着駅・届先または荷受人変更・配達請求または取消ならびに代金引換の取消・引換代金の増額または減額等の指図を請求する場合の呈示用使用する。発駅では、着駅から引換代金の領収通知(切符または通知書甲片の2)を受けたときは、荷送人に対して支払通知を発し、荷送人から本書を提出して引換代金の支払請求があったときは、本書に年月日・住所氏名の記入および押印を求め、これと引換えに引換代金支払いの手続をし、本書は所管審査課に提出、引換代金支払額の調定の資料に供される。

なお荷送人が本書の紛失その他の事由で、引換代金支払いの際これを提出することができないときは、その要旨を記載した保証書(保証人連署)の提出を要することになっている。

1. 代金引換証(小荷物)

2. 代金引換証(貨物)

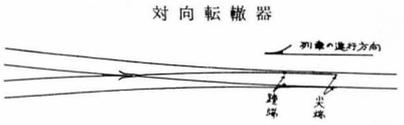
(伊藤 孝)

たいぐうかしきり 待遇貸切 国家功労者・外国使臣等待遇の必要ある場合に、一般の貸切扱と異なる運賃計算方、すなわち実際乗車した人員に相当する旅客運賃・急行料金を収受して、客車の全部または一部を専用にする貸切の取扱をいう。この制度は大正7・11に定められたもので、その内容は戦前における身分・資格が戦後の今日においては通用しなくなっているので、実際には利用されていない。(平林喜三造)

たいこう 対向 鉄道専門用語としては列車および転轍器(てんてつき)に関連してつぎの使用法がある。

1 対向転轍器 (英) facing point, (米) facing switch 列車または車両が転轍器の先端から踵端(しょうたん)に向かって進

行する場合、その転轍器を対向転轍器といい、その列車または車両は転轍器に対向するという。対向転轍器とは固有の名称ではなく、列車または車両が転轍器に向かって進行する方向によって呼ばれるものである。



2 対向列車 単線運転区間において上下列車が行違いの関係にあるとき、一方の列車に対して他方の列車を対向列車という場合と、上り列車に対して下り列車、下り列車に対して上り列車をいう場合とある。(平林伝蔵)

だいさんきじょう 第三軌条 (英) third rail 地下鉄のように、かざられた空間内に電車線路を設け、かつ保安上電車線の電圧に低圧を使用し、しかも大電流を必要とする大単位の列車を運転する場合には、走行軌条より導電率の大きい導軌条(conductor rail)を電車線として使用することが望ましく、これを第三軌条と名付ける。帰線には走行軌条を使用する場合と、べつに構造・材質などまったく第三軌条と同一の軌条、すなわち第四軌条を布設する場合とがあり、わが国では前者を採用している。

第三軌条の形状は T 型、双頭型、キーストン型 (keystone type) など種々あるが、東京および大阪の地下鉄では T 型および特殊 T 型を採用し、電圧はそれぞれ直流 600 V および 750 V で、走行軌条用まくら木を数本ごとに長めのものを使用して、これに碍子(がいし)を取付け、この碍子の上に第三軌条を布設して軌道の外側に布設する。また第三軌条は車両の集電靴(しゅうでんか)との接触面が上にあるか、下にあるか、横にあるかにより上面接触式、下面接触式および側面接触式に分類されるが、前記2つの地下鉄ではいずれも上面接触式を採用している。(図)



写真-1. イクスパンションジョイント



写真-2. エンドアプローチ

接続には、① 継目板で機械的に、かつボンドで電氣的に接続する方式 ② 継目板で機械的に接続するとともに、これを軌条に溶接して電氣的に接続する方式 ③ 軌条それ自体を溶接する方式の3種類があるが、前記2つの地下鉄では②または③の方式によっている。この場合隧道(ずいどう)内の温度変化による導軌条の伸縮を考慮し、数百mおきに軌条を中断してすきまを設ける。電氣的接続はジャンパーにより、またすべり板を設けて集電靴の脱落を防ぐ。この装置をイクスパンションジョイント(expansion joint)という。(写真-1)

また上面接触式で第三軌条を停車場において乗降場の反対側に布設する場合とか、曲線部において曲線の内側に布設する等の場合には、第三軌条を中断するが、いったん離れた集電靴がふたたび軌条面上になめらかにすりあがるために写真-2に示すようなエンドアプローチ(end approach)と称する設備を施す。中断された第三軌条の電氣的接続は、地中に埋設したジャンパーケーブル(jumper cable)による。またわたり線筒所におけるように集電靴が第三軌条に対して斜めに離脱、あるいは